

第59回 札幌市緑の審議会

札幌市緑の基本計画改定
～みどりの将来像～

平成21年3月18日

現計画におけるみどりの将来像

人と自然が 身近に共存するみどり

自然性の高い緑を保全創出することにより、そこに生息・生育する生物の多様性を確保し自然環境の連続性を図る。

北国の風土を 象徴するみどり

樹木の植栽にあたっては、郷土を象徴する樹木や冬に映える針葉樹等により地域の特性に応じた個性豊かな空間の創出を図る。

街並みに映えるみどり

量感や連続感のある緑、季節感のある緑、周囲の街並みや建物と調和した緑などの創出を図るとともにこれら緑化技術の向上に努める。

住まいのみどり

地域緑化の中心をなす市民による住宅の庭づくりや園芸の振興を図る。

ユニバーサルデザイン
高齢者や障がい者のための特別な仕様をつくるのではなく、最初から多くの人のニーズを反映して作られた製品、建物、環境のデザイン
(出典:『第4次札幌市長期総合計画』より参照)

みどりの将来像を考える視点

みどりと花を通じたボランティアや自立したコミュニティが醸成するまちづくり

- 市民参画やパートナーシップによるみどりの保全・創出・活用
- 公園や緑地の維持管理に対する市民や企業の積極的な参画
- みどりと花を介した活動を企画運営から携わることによる街への愛着心の育み
- 誰もが簡単にわかりやすく得られるみどりに関する情報の提供

「低炭素社会」が実現・持続されるまちづくり

- 森林の保全と創出による、大気浄化や水質の保全
- より多くの身近なみどりが、二酸化炭素吸収源として大きな効果を発揮

自然環境の大切さが市民に共有されているまちづくり

- さまざまなみどりとの関わりによる、環境に対する意識の醸成
- 植樹活動などの市民による地球環境保全への取組の推進
- みどりのリサイクルの取組による、循環型・低負荷型の都市形成

生物多様性が保全されるまちづくり

- 樹林地・緑地の保全・創出による、多様な動植物の生息・生育空間、生態系の保全
- 河川や道路による街中とその周辺のみどりのネットワーク化での生物の移動空間の確保

公園やみどりを介した学習の場が身近にあるまちづくり

- 家庭や学校、地域における自然教育の普及・展開
- 自然体験などの学習機会の拡充

山と川を身近に眺め札幌らしいみどりがあふれるまちづくり

- 市民にとって心のふるさとである藻岩山と豊平川の美しい景観の維持
- 街を取り巻く山並みや自然豊かな河川の風景の保全
- 街の周辺や街中に残る自然風景・田園風景による街の潤いの創出

みどりを主体とした札幌らしいまちづくり

- 国際都市さっぽろの顔にふさわしい自然を身近に感じられる都心の形成
- 街路樹による潤いある快適な道路空間を形成
- 効果的な建築物緑化による風格ある街並みの形成
- 札幌らしい樹木や花による街並みの彩りの創出

みどりや花を楽しむ生活文化を育むまちづくり

- みどりや花に囲まれたゆとりと潤いのある暮らしの実現
- 歴史的・象徴的・個性的なみどりの保全・創出
- 園芸活動や自然に親しむライフスタイルの定着
- 自然やオープンスペースを活用した冬を楽しむ豊かなライフスタイルの創出

みどりと花がネットワークされたまちづくり

- きめ細かなみどりの配置による快適な都市環境の創出
- 住宅の庭づくりなど民有地の緑化による地域緑化の推進

誰もがいつでもみどりに触れることができるまちづくり

- ノーマライゼーションの思想に基づいたみどりづくり
- バリアフリー、ユニバーサルデザインへの定着

身近な公園緑地でレクリエーション活動を楽しめるまちづくり

- スポーツ、休養、散策などの余暇活動のための公園や緑地の適正な配置・ネットワーク化

みどりや花、公園によって心身ともに健康で、安心して子育てできるまちづくり

- 公園緑地を活用した余暇活動による心身の健康増進
- みどりを通した人と人のふれあいによる、心のやすらぎなどの精神的な充足感の向上
- 子育て支援や教育等と連携した公園づくり
- 公園遊具などにおける事故を防いでいる安心安全なまちづくり

災害から市民生活を守るみどりや公園のあるまちづくり

- 災害時の避難地、避難路、延焼防止帯としてオープンスペースの適正な配置・ネットワーク化
- 災害時の救援活動拠点としての公園の適正な配置
- 地すべりや市街地の水害防止、騒音・振動を緩和する緑地の適正な配置による健全な生活空間の確保
- 快適な冬の暮らしに向けたオープンスペースの活用

新しいみどりの将来像(案)

私たち市民が守り育むみどり

私たちの生活において欠かすことのできないみどりと花を、一人ひとりが楽しみ協力しながら守り育てていくことを目指していく。

地球環境を守り、 私たちと自然が身近に共存するみどり

私たちの生活に潤いと安らぎをもたらす山並みや緑地・農地のほか、街中を流れる河川などの身近なみどりを守り育てていくことで、地球環境や生物の多様性が保全される自然環境の連続化を目指していく。

街並みに映え、 私たちの札幌を象徴するみどり

藻岩山や手稲山など西部に連なる山並みや豊平川といった本市のみどり豊かな景観を象徴するみどりを守り続けるほか、大通公園や創成川公園、札幌駅前通を基軸として、札幌らしい樹木や花を活用しながら、道路や建物など様々な都市空間での緑化を進め、札幌の顔となるみどり豊かな景観の創出を目指していく。

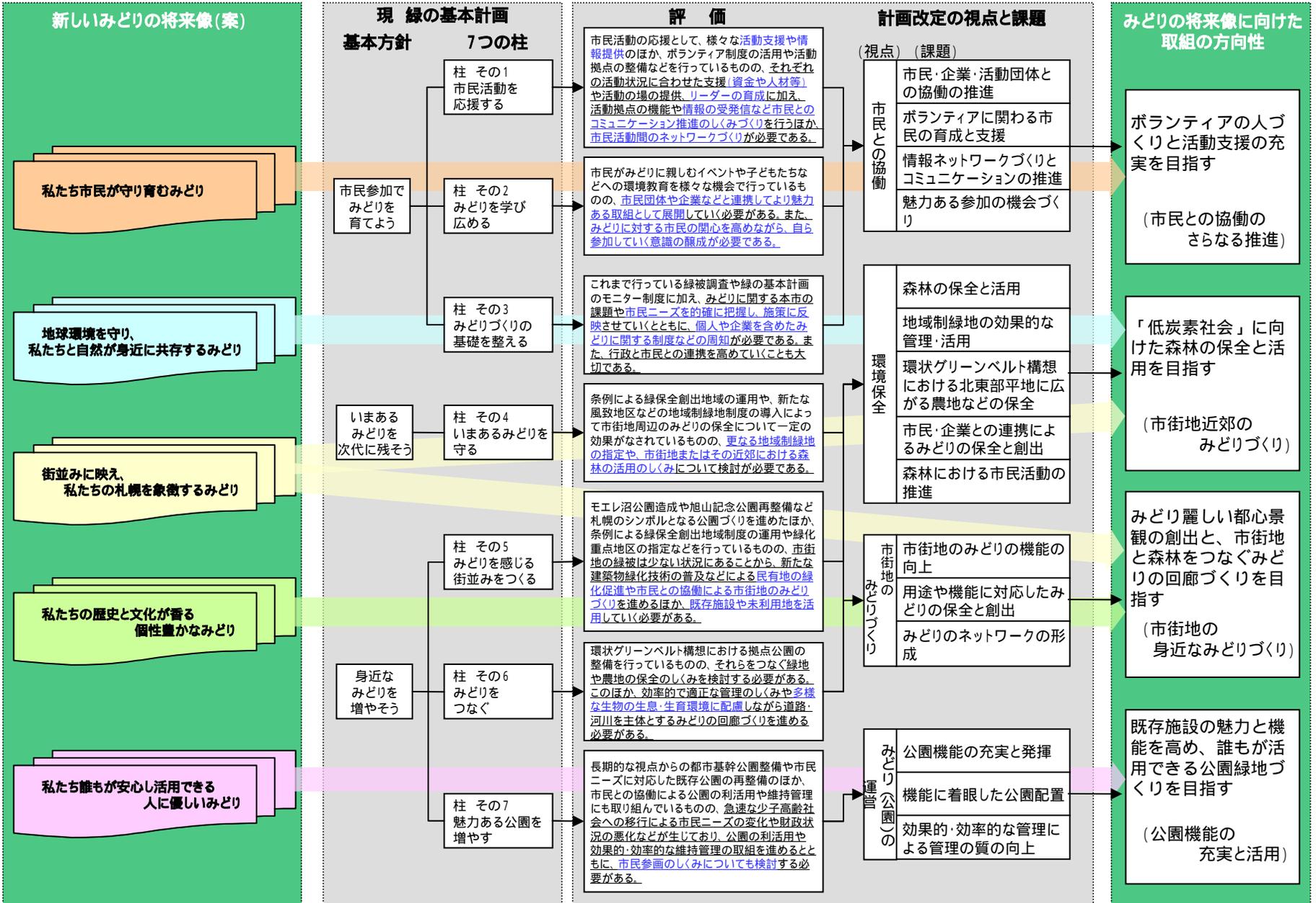
私たちの歴史と文化が香る 個性豊かなみどり

みどりに囲まれた暮らしの空間のなかで、みどりと花を楽しむ生活文化を育むとともに、歴史や文化を生かした個性ある地域のみどりを守り育て、ゆとりと安らぎのあるみどり豊かな地域づくりを目指していく。

私たち誰もが安心して活用できる 人に優しいみどり

ユニバーサルデザインによる公園緑地づくりの定着と、誰もが活用できる人に優しい公園緑地を目指していく。

みどりの将来像の実現に向けた取組の方向性について



みどりの将来像の実現に向けた主要な取組について

新しいみどりの将来像(案)

みどりの将来像に向けた取組の方向性

私たち市民が守り育むみどり

ボランティアの人づくりと活動支援の充実を目指す

(市民との協働のさらなる推進)

地球環境を守り、私たちと自然が身近に共存するみどり

「低炭素社会」に向けた森林の保全と活用を目指す

(市街地近郊のみどりづくり)

街並みに映え、私たちの礼儀を象徴するみどり

みどり麗しい都心景観、市街地と森林をつなぐみどりの回廊づくりを目指す

(市街地の身近なみどりづくり)

私たちの歴史と文化が響る個性豊かなみどり

既存施設の魅力と機能を高め、誰もが活用できる公園緑地づくりを目指す

(公園機能の充実と活用)

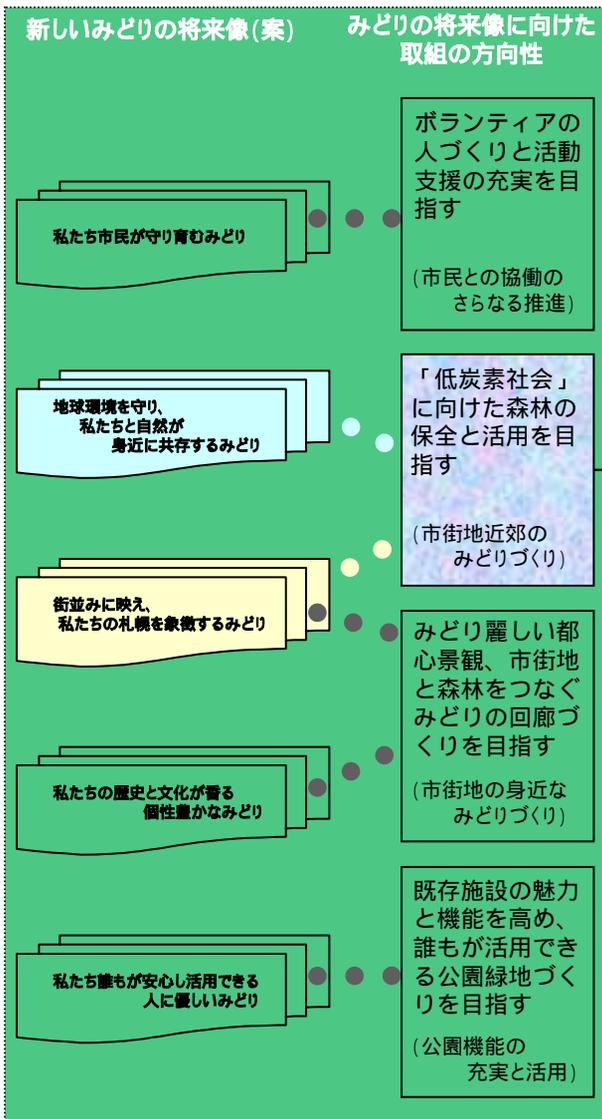
私たち誰もが安心して活用できる人に優しいみどり

主要な取組

| | | |
|--------|--------------------|--|
| 人づくり | 【ボランティア活動に関わる人づくり】 | ボランティア活動に関わる市民のすそ野を広げるとともに、地域や団体における活動のリーダーやコーディネーターなど、ボランティア活動に必要な人材の育成と活用を進める。 |
| | 【連携の推進】 | 地域やボランティア団体・企業それぞれが連携する機会のしくみづくりを進め、それぞれの活動の充実と拡大を図る。 |
| 支援のあり方 | 【活動の場と支援の充実】 | 市民・企業・活動団体と行政の協働による取組をより一層進めるため、そのしくみや支援の充実を図るほか、魅力ある活動の場の設定や活動のPRに努める。 |
| | 【情報の提供】 | 行政情報のほか、地域やボランティア団体・企業の情報についても、ホームページや定期的な発行物などを活用して、効果的で即時性のある提供に努める。 |
| | 【拠点機能の整備】 | 情報の受信・発信のしくみのほか、みどりの保全・創出などに関する市民活動の支援、さらには自然観察や自然環境教育等フィールド活動の拠点となる機能を整備する。 |
| 施策づくり | 【地域コミュニティの醸成】 | 地域住民や企業などとの協働による地域における花とみどりの活動を通して、地域コミュニティの醸成を図る。 |
| | 【市民評価を基にした施策づくり】 | 市民による評価を踏まえた施策の検証を行いながら、市民ニーズに対応した効果的な施策を推進する。 |
| | 【魅力あるイベントづくり】 | 市民団体や企業と連携しながら企画・運営に取り組むことで、より一層魅力あるイベントづくりを進める。 |
| | 【関係機関との連携】 | 行政機関や大学・研究機関などと連携しながらみどりに関する情報や技術の集約を図るほか、研究の推進に向けた支援のしくみを検討する。 |

青字部については、平成20年10月の市民ワークショップにおける意見と重なっている内容

みどりの将来像の実現に向けた主要な取組について



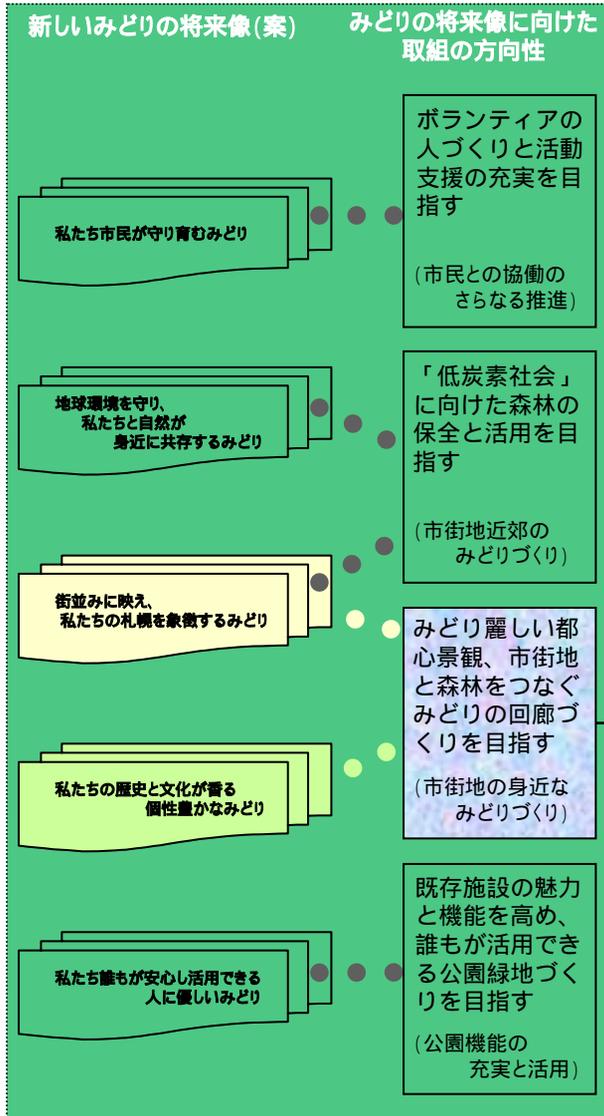
主要な取組

| | | |
|------------|-----------------------------------|--|
| 森林緑地等の保全創出 | 【森林機能の保全と育成】 | それぞれの森林の特性を踏まえながら森林の持つ多様な機能を保全・発揮・回復させるため、 制度の活用や計画的な公有化による保全を進めるとともに、市民・企業・活動団体等と連携した森林の管理・育成を持続的に行っていく。 |
| | 【環状グリーンベルト構想の取組】 | 拠点となる公園などの間に位置する緑地や農地を、条例に基づく緑保全創出地域制度や 都市緑地法などの運用を進めるとともに、他部局の制度と連携しながら保全に取り組む ほか、市民との協働による森づくりなどを通して新たな拠点づくりに取り組む。 |
| | 【環境保全の推進】 | みどりの保全と創出とその連続性を進めることで、 生物多様性のほか環境保全の推進を図る 。また、 市民の環境保全に対する理解や認識を深めるため、情報提供や自然環境教育、体験学習などを進める。 |
| | 【市民・企業・活動団体との連携による新たな森づくり】 | 「低炭素社会」に向けた取組として、 カーボンオフセット植樹など市民・企業・活動団体と連携した植樹・育樹のしくみによる森づくりを進める。 |
| 森林緑地等の活用 | 【森林の活用】 | 都市環境林や市民の森などにおける 自然観察や自然環境教育等フィールド活動をより一層推進 するため、白旗山を拠点とする活動のための機能やしぐみを市民・企業・活動団体等との連携により整備する。また、 市民や企業などの森林の保全・育成や活用に関する活動について、それぞれの森林の状況を踏まえた効果的な支援を行うとともに、情報の共有や活動の連携を図る。 |
| | 【みどりのリサイクルの推進】 | 剪定枝や落葉などのみどりのリサイクル事業を支援し、循環型社会の形成に資するための普及啓発とその取組を進める。 |
| 環境教育 | 【環境教育の推進】 | 学校や他部局と連携して、 子供から大人まで幅広い年齢層に対応する環境教育や体験学習の取組を効果的に進める。 |

青字部については、平成20年10月の市民ワークショップにおける意見と重なっている内容

カーボンオフセット
自分の日常生活から発生した二酸化炭素(=カーボン)を、植林やクリーンエネルギーなどの事業を通じて相殺(=オフセット)しようということ。
(出典:「北海道 森林吸収量確保緊急間伐対策 別紙1参考資料」より参照)

みどりの将来像の実現に向けた主要な取組について

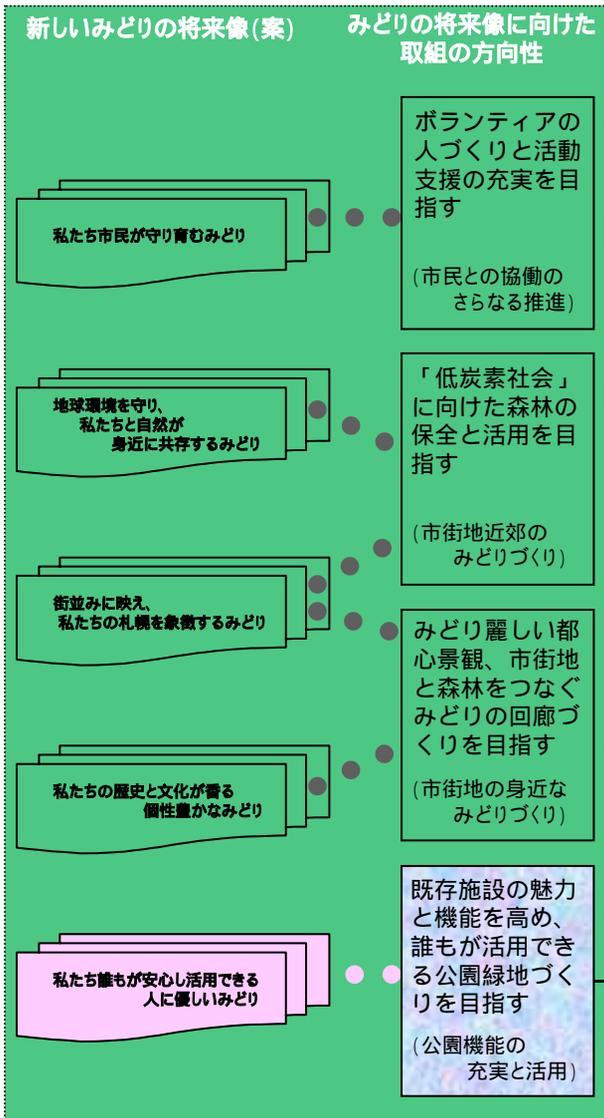


主要な取組

| | | |
|----------|--------------------------------|--|
| みどりの機能 | 【札幌の顔となる都心づくり】 | 大通公園・創成川公園や札幌駅前通などを軸として、緑保全創出地域制度の活用や関連制度と連動しながら、都心部におけるみどりを主体とした質の高い景観の創出に取り組む。 |
| | 【街のシンボルづくり】 | 地域の歴史や文化などととも、みどり主体の特色あるまちづくりを、地域や企業の参画により進める。 |
| | 【防災機能の充実】 | 地域防災計画と連動して、避難路・避難地としての機能に加え、樹林などによる延焼防止など、みどりによる防災機能の充実強化を図り、安心・安全のまちづくりを進める。また、快適な冬の暮らしを実現するためのオープンスペースの活用を図る。 |
| みどりの保全創出 | 【みどりの回廊づくり】 | 河川や森林・樹林地などが連続したみどりの保全・創出を進めるとともに、大規模公園などの拠点のみどりを地域の公園や街路樹などの公有地や民有地のみどりによってつなぐみどりのネットワークづくりを進めることで、市街地と森林とが連続したみどりの回廊づくりを目指す。 |
| | 【植栽環境に合わせたみどり豊かな街路樹づくり】 | 街路樹の植栽環境に合わせて樹冠管理や樹種の更新などにも取り組むとともに、街路樹の機能のPRなどを進めながら市民の理解を高めることで市民に親しまれる道路空間の創出を図る。その中で、良好な植栽空間のあるところでは、緑量感ある街路樹育成による質の高い道路空間の創出を目指す。 |
| | 【建築物における緑化推進】 | 建築物における緑化を推進するため、緑化技術の普及、制度との連携などを検討するほか、市民・事業者などに対する支援などの効果的な誘導手法について検討を進める。 |
| | 【制度を活用したみどりの保全と創出】 | 緑保全創出地域制度の検証を行いながら、より効果的な制度の実施に向けて、制度の基準のほか、景観・管理の観点から踏まえた植栽・管理を誘導するしくみについて検討を進める。 |

青字部については、平成20年10月の市民ワークショップにおける意見と重なっている内容

みどりの将来像の実現に向けた主要な取組について



主要な取組

| | | |
|-------|---------------------------|---|
| 公園の機能 | 【都市における公園の景観機能の創出】 | みどりを主体とした良好な都市景観づくりのため、公園の位置や規模、周囲の環境などを踏まえながら、それぞれの公園のあり方について検討を進める。 |
| | 【公園緑地の利活用の推進】 | 市民のニーズや評価などを踏まえながら、施設の整備を進めるとともに、 市民参画を主体とした利活用を進める。 |
| | 再掲 【防災機能の充実】 | 地域防災計画と連動して、避難路・避難地としての機能に加え、樹林などによる延焼防止など、みどりによる防災機能の充実を図り、安心・安全のまちづくりを進める。また、 快適な冬の暮らしを実現するためのオープンスペースの活用を図る。 |
| | 【都市基幹公園機能の充実】 | 既存公園における施設再配置などを進めるほか、公共施設などを含めた機能・施設の充足度を踏まえ、効果的な公園緑地機能の充実を図る。また、より多くの市民の利活用に向けて、市民ニーズに対応するとともに、それぞれの公園の個性や魅力を活かす取組を進めるほか、情報の受信・発信機能や市民活動の拠点機能の充実なども進める。 |
| 公園の活用 | 【住区基幹公園機能の充実】 | 公園緑地やオープンスペースを生かした新たなみどりの創出のほか、地域のニーズに合った機能の確保に向け、既存公園の施設の再整備を進める。また、 地域活動や地域コミュニティの基点としての活用を図る。 |
| | 【すべての人に優しい公園づくり】 | 市民や地域のほか高齢者や障がい者など多様な市民の参画のもとすべての人にやさしい公園づくりに取り組む。 |
| 公園の維持 | 【効率的で質の高い維持管理】 | 市民ニーズや地域の状況を踏まえた機能と施設の見直しなどにより、効率的で質の高い公園緑地の維持管理に取り組む。 |
| | 【市民参画による維持管理】 | より多くの市民による 自主的な公園緑地の維持管理を進めるため 、少子高齢社会への対応を踏まえながら 団体や個人など多様な主体が参画できるしくみの検討を進める。 |

青字部については、平成20年10月の市民ワークショップにおける意見と重なっている内容